

野菜の作業

種まき	追肥	収穫	栽培管理のポイント
二十日大根 品種：コメット ハウレンソウ 品種：ホライ・トライ 小松菜	アスパラの追肥 霜にあたって枯れた葉は整理し焼却する。 (追肥の量) 1aあたり サライムプラス 10kg 石灰窒素 6kg 発酵鶏糞 25kg 完熟堆肥 500kg	葉ネギ～12上 チゲンソイ～ ナガイモ～12中 小松菜～ 二十日大根～ ハウレンソウ～	野鼠・モグラ対策 暖かいハウス内やワラを積んだ所で越冬。穴を見つけて殺鼠剤で駆除する。 (殺鼠剤は毒物・劇物：取扱注意を！) ハウス育苗春レタスの栽培 ・育苗培土は市販のものが良い ・コーティング種子を用いる場合は覆土は少なめにすると発芽が揃う ・床温は温床線により 18℃を保つ ・不織布により保温を行う。

【野菜の貯蔵について】貯蔵中も野菜は生きている！

野菜は貯蔵中も新陳代謝を続けながら熟しており外見上も内容的にも変化します。
この変化を少なくすることが貯蔵のポイントとなります。

①根菜類の貯蔵（縦穴貯蔵法）

- ・ダイコン、人参は立てて保存するのが望ましい。
(呼吸による消耗が少ない)
- ・ダイコン、人参は葉切り後、土付きのまま保存する。
- ・ゴボウは葉切り後5本程度にまとめ間には土をはさむ。

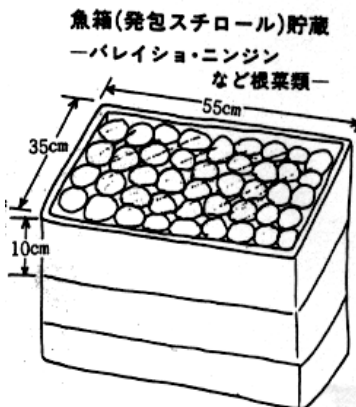
注意事項！

- ・野菜類のまわりにはコモや稲ワラを利用した保温資材を置きその上に 20cm 程度の土をかぶせる。
- ・湿ると品質が低下するので排水溝は必ず設置する。



- ①深さ 1 m 程度の縦穴をほる。
- ②側壁へワラ束等を並べ野菜を入れる。
- ③上部もワラ束を並べ土をのせる。

②発包スチロールを用いた保存法

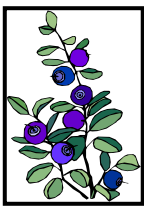


- ・魚が入っていた発包スチロール等は、きれいに水洗いし、水分を切っておく。
- ・バレイショ、サツマイモ、ナガイモ、ニンニク、ダイコン等の根菜類はこの貯蔵法が可能！（大小混ぜ合わせて詰め合わせる）
- ・ゴボウは土を5～6cm入れた方が良い。

根菜類貯蔵期間の目安

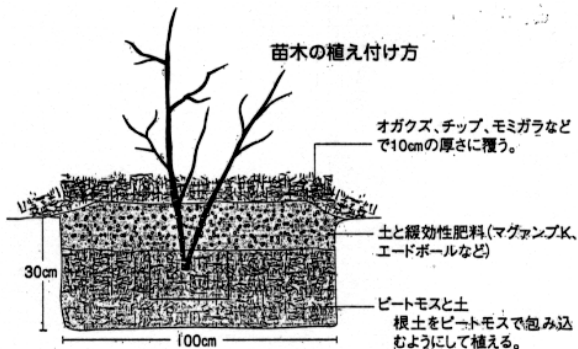
ダイコン：2～4ヶ月	サトイモ：4～6ヶ月
ニンジン：4～5ヶ月	ナガイモ：4～6ヶ月
バレイショ：5～8ヶ月	サツマイモ：4～6ヶ月

果樹の情報！【ブルーベリーについて】



- ・ブルーベリーはツツジ科の落葉樹で、高さは約1.5m程度の小果樹です。
- ・ブルーベリーの種類は大きく分けて「ハイブッシュ系」と「ラビットアイ系」の2種類があり、いずれも夏に涼しい気候を好みますが、冬に凍みる長野県の気候を考慮すると耐寒性にすぐれる「ハイブッシュ系」が適します。
- ・近年、加工用に重宝され、ジャムやゼリー、ジュース等の原料として需要が増えています。
- ・直売所への出荷用として栽培をご検討下さい！

【図：ブルーベリーの定植方法】



【栽培のポイント】

- ① 酸性を好む：pH4.5～5.5程度を好みます。
- ② 乾燥は生育不良を招く：
 - ・ピートモス（保湿が良くなる酸性質の資材）をしっかりと入れる。
- ③ 灌水
 - ・根は細く繊細で分布も比較的浅いため乾燥に非常に弱い
 - ・地表面にはオガクズやモミガラ等を敷き早魃時の乾燥を防ぐ。
- ④ 施肥：緩効性の肥料を発芽前に施用する。
- ⑤ 収穫：一粒ずつ収穫するため労力を要す。
 - ・品種の組み合わせが大切！

・定植は4月頃、活着を考慮すると2年生以上の苗が良い。

・深さ20～30cmの穴を掘り、湿ったピートモスを底に敷きまた根の周辺にもピートモスをたっぷり入れる。

【ハイブッシュ系ブルーベリーのおすすめ品種】

早晩生	品 種 名	収 穫 期	品 種 特 性
早 生	アーリーブルー	6月中～下旬	樹勢が強い 中粒 裂果が少ない 明青色
	コリンズ	6月中～7月上旬	樹勢が強い 中粒 やや裂果に弱い 明青色
中 生	ブルーレイ	6月下～7月下旬	大粒系（豊産） 裂果少ない 香りが良い
	パークレイ	6月下～7月下旬	大粒系（豊産） 落下がやや多い 香りが良い
晩 生	ジャージー	7月上～下旬	香りが良い 経済的な品種
	ダロウ	7月上～下旬	裂果が少ない 香りが良い



農業豆知識

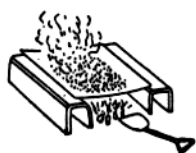
質問コーナー

野菜の育苗培土を自分で作ってみたいのですが、ポイントを教えてください。

野菜育苗培土の「原土」は、水田の土や山土が適します（今まで野菜を作ったことが無い土）
 土壌病害の発生を防ぐため「加熱」による殺菌を行い、排水・保水の向上のため有機物等と混合し
 石灰を加えてpHを6.0～6.5前後に調整したのち、育苗用の肥料（IBそさい苗床用）を加えます。

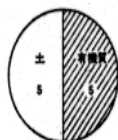
□ 床土の消毒

加熱による消毒



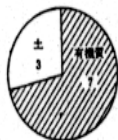
- 少量処理の場合 かんたんなカマドを築き鉄板をおいて火をもやす
- 大量処理 蒸気消毒機を用いる。
- 焼きすぎないように加熱温度を調節し処理後ひろげて放冷する
- 処理温度は70℃とし処理時間30分を厳守する。

(1回移植床用)



(土5：有機物5)

キュウリ・メロン・スイカ



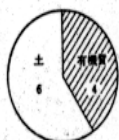
(土3：有機物7)

トマト



(土5：有機物5)

ナス・ピーマン



(土6：有機物4)

有機物として加えたい素材

- ・完熟堆肥、腐葉土、バーミュクライト
- ・籾殻くん炭、ピートモス等

IBそさい苗床用(NPK:4-12-5.5)の加用

- ・培土1㎡当たり1.5kgを加用(N:60g)

培土1㎡(100%)で作れる育苗容器の数

- ・タスなど：2号・・・10,000鉢
- ・ハサ、ブロッコリーなど：3号・・・3,000鉢
- ・トマト、ピーマンなど：5号・・・1,500鉢

技術項目：作成協力
 上小農業改良普及センター
 白石主任 (TEL25-7157)